



梅島小だより

当たり前のことを真面目にやることが人を成長させる

校長 江原 敦史

イチロー選手がオリックスに在籍していたとき、当時バッティングピッチャーを務めていた奥村選手がイチロー選手にこう尋ねました。

「いままでで、これだけは誰にも負けていないと胸を張って言える練習が何かある？」

イチロー選手の答えは次のようなものでした。

「高校の時に3年間寮に入っていて、寝る前に1日10分だけ素振りをしていました。その10分の素振りを1年365日、3年間続けました。これが誰にも負けていないと思える僕の練習です。たった10分です。でもその10分を続けることが大切です。それも1年ではなく3年間続けられたことが、いまの自分の力になっていると思います」

こんな話もあります。

奥村選手「運を感じたことはある？ 野球の神様っているのかな？」

イチロー選手「野球の神様はいると思います。それは当たり前にやるべきことをやる人を、見てくれる人です。そういう人たちが応援してくれることで力が入る。自分だけの力ではなく、多くの人たちの力がいまの自分の野球を作っています。」

奥村選手が大リーグのニューヨーク・メッツのキャンプに参加した時に、大リーグの選手たちからこんな話も聞いています。

奥村選手「メジャーで活躍するために必要なものは何？」

メッツの選手「誰よりも強い身体がないと年間160試合も戦えない。そのためには、誰よりも練習をしなくてはならないし、身体のケアも必要だ。それともう一つ、運だ。」

奥村選手「運なんてどうやってつかめばいいの？」

メッツの選手「それはシンプルなことだよ。当たり前のことを、真面目にやるだけさ」

子どもの成長も同じだと思います。

何かができるようになるためには、特別な魔法のようなものがあるわけではありません。

毎日コツコツと小さな努力を積み重ねる、当たり前のことを真面目にやる、このようなことを通じて、できなかったことが少しずつできるようになったり、できた実感や喜び、自信をつかんだりするのだと思います。

梅島小での教育も、「当たり前のことを真面目にコツコツと継続してやる」ことを大切に、1日1日を大切にしていきたいと思います。

今年度も教職員一同、子どもたちの成長のために努力してまいりたいと思います。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。